

静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

①対象者	2010年4月～2015年3月に上部消化管狭窄に対して内視鏡的バルーン拡張術を受けられた方			
②研究課題名	上部消化管内視鏡的バルーン拡張術における偶発症および抗血栓薬の取り扱いに関する多施設後ろ向き研究			
③実施予定期間	倫理審査委員会承認日 ～ 2021年12月			
④実施機関	東京大学医学部附属病院、がん研有明病院、国立がんセンター中央病院、慶應義塾大学病院、静岡県立静岡がんセンター、順天堂大学医学部附属順天堂医院、聖路加国際病院			
⑤研究代表者	氏名	辻 陽介	所属	東京大学医学部附属病院 消化器内科
⑥当院の研究代表者	氏名	角嶋 直美	所属	内視鏡科
⑦使用する検体・データ	カルテ情報			
⑧目的	<p>当科では、内視鏡的治療・外科手術における術後狭窄に加え、アカラシアや放射線治療後狭窄など他の上部消化管狭窄に対して内視鏡的バルーン拡張術を施行しております。</p> <p>その有効性が示されている一方で、処置には後出血や穿孔などの偶発症リスクが伴います。また抗血栓薬を内服されている患者さんの場合には、処置施行前に抗血栓薬の休薬を要するなどの問題も発生してきます。</p> <p>そこで本研究は、過去に施行された上部消化管内視鏡的バルーン拡張術を解析し、内視鏡的バルーン拡張術における抗血栓薬の出血発生率への影響、偶発症リスクの把握を目的としております。</p>			
⑨方法	上記研究期間に上部消化管狭窄に対して内視鏡的バルーン拡張術を受けられた方について、原疾患・狭窄原因、偶発症発生率、抗血栓薬内服状況に関するカルテ情報を収集・集積いたします。なお、カルテ情報収集にあたっては氏名・患者IDなどの個人を特定しうる個人情報は一切含みません。			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日	2017年7月19日		
⑪公表	研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。			
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は使用しません。			
⑬知的財産権	知的財産に関する権利（特許権等）は、静岡がんセンターに属します。			
⑭利益相反	本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。			
⑮資料の参照	本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。			
⑯問い合わせ	連絡先	臨床研究事務局	電話	055-989-5222（内線3379）
	事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。			

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。